

指定管理評価表(北図書館)

令和2年3月31日現在

施設概要	・尼崎市立北図書館(尼崎市南武庫之荘3-21-21) ・開館時間:火曜から土曜 9:00～20:00 日曜・祝日 9:00～17:15 ・施設設置目的:生涯学習の推進・子どもの読書活動の推進 ・事業内容:図書、記録その他必要な資料の収集、整理、保存及びそれらの一般公衆への提供等			
指定管理者の名称	株式会社 図書館流通センター			
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日			
業務概要	・図書等の貸出、閲覧、読書案内 ・調査相談(レファレンス)業務、青少年室管理 ・読書活動推進に向けた各種行事(展示ほか)の実施			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	利用者数(貸出のみ)	166,137 人	169,061 人	171,400 人
	貸出冊数(団体含む)	603,664 冊	605,620 冊	621,863 冊
	行事開催数	121 回	139 回	147 回
	行事参加者数	7,092 人	6,421 人	5,321 人
所管課・所管課長名	教育委員会事務局社会教育部中央図書館・安福 眞理子			
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		B	北図書館40周年記念行事や読書週間行事において、利用者参加型の新規の企画を行うなど好評を得て、行事参加者は増加している。また、ボランティアグループや地域の公共施設等とも積極的に協働して事業を実施するなど、サービス向上及び新たな施設利用者の掘り起こしに取り組んでいるが、貸出冊数等の利用実績の増までは至っていない。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		A	業務遂行に必要な体制を整え、老朽化の進行した施設にあっては、設備の補修等を計画的に工夫しながら行っている。また、各種の職員研修を適切に実施し、職員の資質向上にも積極的に取り組んでいる。今回のコロナ対策においても利用者の安全性に配慮するなど危機管理に速やかに対応している。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		A	収支状況は適正であり、光熱水費を初めとする経費節減に積極的に取り組み節減分を老朽化施設の修繕などに充てている。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		A	適正な会計手続きが行われ、良好な経営状況にあるものと判断される。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		A	文書等について、社内監査を実施し、適切に管理している。また、内部評価を実施している。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・市民から親しまれる図書館づくり ・児童サービスの充実 ・郷土に対する知識、愛着の醸成 ・ボランティアグループとの連携体制の構築 ・地域での生涯学習への参加	・利用者参加型の新規企画を積極的に行い、親しみやすい図書館づくりに取り組んでいる。 ・児童や親子で楽しめる新規の事業を実施し、児童室の飾りつけなども、参加者から好評を得ている。 ・館報の「新・尼崎の本棚」において市内の史跡を紹介するなど、郷土に対する知識、愛着の醸成に努めている。 ・ボランティアグループとは、定期的な会合や連携事業前後での話し合い等で良好な関係を構築し、事業を推進している。 ・近隣の公共施設との共催事業に取り組むと同時に、中学生の「トライ・やる」や職場体験学習や実習生等を積極的に受け入れている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
A	今年度は、多くの利用者参加型の新企画の事業を行うなどサービス向上及び利用者の掘り起こしに取り組むを行い、行事参加者が増加するなど実施事業の参加者からは好評を得ているが、貸出冊数等の利用実績の増までは至っていない。指定管理者は全国で多数の図書館業務を運営・受託しており、その情報網やノウハウを活かした発想と実行力に今後も期待したい。施設管理に関しては、老朽化の進行した施設において、光熱水費などの節減した財源を使うなど利便性や安全性緊急性を勘案しながら必要な補修等に努めている。今後も新たな利用者の開拓に結び付く事業の実施及び市民サービスに努め、引き続き市民から親しまれる図書館運営を望むものである。

※ 評価は、A～Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1～5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。